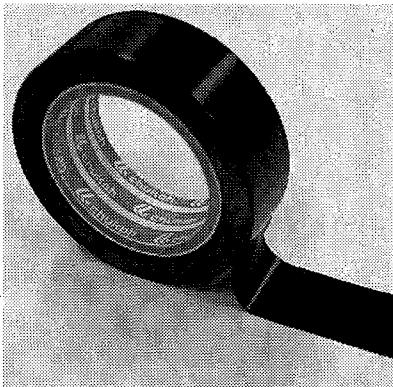


成業 帯電防止タイプを上市
中興工 初年度は売上500万円を目標

フッ素樹脂の総合加工メーカーの中興化成工業（東京都港区、03・6230・4414）は、帯電防止タイプのフッ素樹脂粘着テープ「ASB-110」を6月に上市する。

食品や飲料の製造工場では、製品を搬送レ

ール上でスムーズに滑らすためにレールの製品と接する箇所にフッ素樹脂粘着テープを貼付するが、製品溜まりが解消され生産効率は向上するものの、静電気が溜まってしまいう問題があった。静電気によるトラブル（火災・ごみの付着など）の防



柔軟性・クリーン性に優れている

止は生産現場にとって重要な課題であるため、帯電防止効果のあるフッ素樹脂粘着テープはこのように用途に適している。同社では、ガラスクロス素材とした帯電防止タイプのフッ素樹脂粘着テープ「ASB-500」を製造・販売しているが、半導体分野などではさらにクリーン性を求めるニーズに合わせるためにガラスクロスを含まない、フィルムタイプの帯電防止フッ素樹脂テープを開発した。

半導体業界をはじめ、帯電防止性、耐熱性、クリーン性、耐薬品性を同時に必要とする用途に展開している。初年度の売り上げは5000万円を目標としている。